

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大正製薬株式会社	事業所名	大宮工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	省エネ法特定荷主に該当。定期報告書にてCO2排出量の報告(2020年度 全社で5,246t)。四半期に1回、全支店で開催するミーティングの際、四半期ごとのデータを基に課題抽出および対策立案を実施する			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	1(1)で挙げられた課題および対策案について貨物輸送事業者への情報共有および依頼を行っている			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	貨物輸送事業者に対し、法令上提出義務のある計画の実施状況を1回/年 アンケート形式で確認(対象 8事業者、回答は重複あり) * 省エネ法: 6社、埼玉県地球温暖化防止条例: 4社、その他: 1社、計画なし: 1社			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	貨物輸送事業者に対し、環境配慮への取組み状況を1回/年 アンケート形式で確認 (対象 8事業者、回答は重複あり) * ISO14001: 2社、グリーン経営認証: 3社、取組みなし: 4社			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	物流拠点を集約する事で、各工場から物流拠点への製品供給輸送ならびに、各物流拠点からの得意先配送の効率化を図っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品の形状や容積に合わせた詰め合わせ箱を使用する事で、輸送の効率化と積載率の向上に努めている。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	得意先への配送では路線便(積合せ輸送)を実施。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	貨物輸送事業者に対し、2t・4t・大型車を荷量に合わせて使用するよう依頼している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	1日に数回に分けて発注データを受信、配送時間を定め納品している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	入荷ならびに幹線輸送において、車両受付システムを導入する事で効率化を図り、輸送車両の待ち時間の削減に取り組んでいる。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ()	必要に応じて、納品先までの輸送手段や経路の見直しを行い、輸送の効率化に努めている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年1回 開催する貨物輸送事業者とのミーティング時に依頼している	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	年1回 貨物輸送事業者とのミーティングにおいて「エコドライブ10」のドライバーへの周知を要請する	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>CNG車、ハイブリッド車の導入を進めている事業者もある。 低燃費車の導入割合、エコドライブ実施状況について、アンケート形式で確認する</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>周辺道路での路上駐停車を禁止し、敷地内での待機を要請している。また、アイドリング防止の観点からドライバー専用の休憩室を設置している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()</p>	<p>海上輸送、コンテナでの鉄道輸送など、混載可能な大型輸送手段の利用を拡大している。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()</p>	<p>車両受付システムにより、待機時間削減を図っている</p>	○	○	○
<p>11 その他の必要な取組 ()</p>	<p>新しく開通した高速道路等の利用による、輸送距離の短縮について協力を依頼。</p>	○	○	○